

|                                     |   |   |   |
|-------------------------------------|---|---|---|
| 授業開講年度                              | 2026  | 開講キャンパス                                   | さくら夙川キャンパス  |
| 開講学期                                | 春学期   | 開講曜日・時限                                   | 集中講義  |
| 科目コード                               | ZG0261  | 授業コード                                     | 40278   |
| レベルナンバー                             | 200   | 配当年次                                      | カリキュラムにより異なります。   |
| 授業科目名                               | 国際社会を知る（オンデマンド型／木曜日配信）  |   |   |
| 担当教員名【代表】                           | 坂本 真司   |   |   |
| 担当教員名                               | 佐野 光彦   |   |   |
| 授業形態                                | 講義  |   |   |
| 授業方法                                | メディア授業（オンデマンド）  |   |   |
| 単位数                                 | 2.0   |   |   |
| ディプロマポイント評価観点（※本科目がどの項目に該当しているかを示す） |   |   |   |
| Knowing                             |   |   |   |
| (知識とリテラシー)                          | 教養と専門知識【DP1】  | ○   | 知識・情報を活用する力【DP2】  |
| Doing                               |   |   |   |
| (実践力)                               | 国際感覚【DP3】   | ○   | 対人基礎力【DP4】  |
|                                     | 対自己基礎力【DP5】   | ○   | 対課題基礎力【DP6】   |
| Being                               |   |   |   |
| (信念と志)                              | 豊かな人間性と肯定的自己概念【DP7】   |   | 社会的責任【DP8】  |
| 授業の目的                               | 国際社会とはどのような社会か、それは過去から現在にかけてどう変化してきたか。そこにはどのような問題があり、その背景は何か。本科目では、これらの点を教員のレクチャーをとおして検討するものである。複数の分野や領域から国際問題を具体的に認めながら、その克服を目指す動きについても考える。そうして私たちの幸福追求に資する知識を身につける機会としたい。                                       |   |   |
| 到達目標                                | 本科目では次の2つの成果が目指される。<br>1) 国際社会の実態や直面する問題について、研究者の学説や、専門家の説明から詳しく学び知識を得ること<br>2) 国際問題解決の取り組みについて、NGOといった各種専門機関の活動をみながら把握すること   |   |   |
| 授業概要                                | 本講義は、オンデマンド型授業である。授業各回では、教員作成の音声付パワーポイント資料が指定曜日朝9:10からエルキャンパスより発信される。受講生は、決められた期限内に資料をダウンロードし、視聴することで学習を進める。資料では、動画視聴用、ならびに情報探索のためのリンクが設定されている。これらリンクに入り作業もすること。資料視聴後は、決められた期間内に課題の作成と提出をすること。学習方法の詳細は第1回授業で案内する。 |   |   |
| 課題レポート等                             | 各回講義後には、授業での成果を振り返るための課題に取り組んでもらう。基本ルールは第1回授業にて案内する。評価の基準は基本的に本課題の成果による（成績評価の基準と方法を併せて参照）。  |   |   |
| フィードバックの方法について                      | 次回授業の冒頭にて、全員に当該授業の要点整理を交えつつ、時間外課題の講評を提示する。当該時間外課題提出者には担当者から見本を提示する。   |   |   |
| 授業時間外学習                             | 授業各回での学習内容を要約する作業を課す。基本ルールは第1回授業で案内する。  |   |   |
| 授業回数                                | 主題  | 概要  | 授業時間外学習(学習内容・時間)  |
| 01                                  | 講義全体の概要   | 授業の進め方を中心に講義全体のガイダンスをすするとともに、予備知識の習得を目指す。 | 事前学習：ガイダンス資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)                     |
| 02                                  | 国際社会の基礎知識   | 国際社会の概念とその形成の背景を、世界史の観点から検討し、基礎理解に努める。    | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分) |
| 03                                  | 国際政治  | 国際政治とは何か、その概念と現状を政治学の学説を交えながら検討する。        | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分) |
| 04                                  | 国際経済  | 国際経済とは何か、その概念と現状を経済学の学説を交えながら検討する。        | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)                        |

|              |                    |   |   |
|--------------|--------------------|---|---|
|              |                    |   | 分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分)   |
| 05           | 国際移動               | 「移民」と「難民」を主な例にして、国際移動にまつわる知識を具体的に学ぶ。  | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分) |
| 06           | 国際紛争               | 国際紛争に関する知識を、具体例を交えながら学ぶ。  | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分) |
| 07           | グローバル化とは何か         | グローバル化の概念とその実態について事例を交えながら具体的に理解する。   | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分) |
| 08           | 生活からみる国際社会：服飾文化    | ファストファッションをトピックに、服飾文化の観点から国際社会の動向をみる。   | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分) |
| 09           | 生活からみる国際社会：食事情     | 食料自給をトピックに、食事情の観点から国際社会の動向をみる。  | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分) |
| 10           | 生活からみる国際社会：団地の多文化化 | 多文化化する団地社会を例に、居住空間の観点から国際社会の動向をみる。  | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分) |
| 11           | 南北問題からグローバルサウスへ    | 貧困問題を基本トピックにして、いわゆる先進国と発展途上国の関係について考える。   | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分) |
| 12           | 国際協力               | 国際協力の概念と、その具体的成果・課題について知識を得る。   | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分) |
| 13           | 国際協力の実際            | バングラデシュにおけるNGOの障がい者支援を例に、国際協力の実際を理解する。  | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分) |
| 14           | 国際協力における日本の役割      | バングラデシュでの障がい者支援を例に、日本による国際協力の成果と課題をみる。  | 事前学習：授業資料をエルキャンパスにて先行配布するので読み通しておくこと(120分)<br>事後学習：授業内容要点整理(120分) |
| 15           | 授業全体の要点整理          | 各回の要点整理と授業全体での成果の確認をする。   | 事前・事後学習：フォーマットを用いてこれまでにまとめた講義ノートで読み通す(合計240分)                     |
| 成績評価の基準と方法   |                    | 授業成果を図る課題の提出（各回終了後、授業時間外にて作成と提出。毎回ルールを指示）にて評価を下す（100%）。【評価基準 A（90点以上）、B（89-80点）、C（79-70点）、D（69-60点）、F(60点未満)】併せて「課題レポート等」を参照) |   |
| 教科書          |                    | 音声付スライド資料をテキストとして提供する。また適宜参考資料をファイルにて配布する。  |   |
| 参考図書         |                    | 音声付スライドにおいて、場合によってはエルキャンパスをとおして適宜紹介する。  |   |
| 授業に関する質問等の方法 |                    | 初回授業で担当教員に確認をしてください。  |   |
| 備考           |                    | 関連する時事問題の発生ほか諸事情で、授業計画がシラバスのとおりとならない場合がある。<br>本科目は、神戸学院大学教員との共同開発授業である。<br>担当：第1-12回、第15回は坂本、第13・14回は佐野                       |   |
| 短大同時開講使用欄    |                    |   |   |